

自ら学び 豊かな心で たくましく生きる生徒

しただの郷学園
下田中学校便り第10号
令和5年2月17日発行



文責 校長 小林貴英

ホームページではカラー
でご覧いただけます。→



3年生ありがとう！ 卒業を祝う会 14日(火)

生徒会本部役員、新専門委員長が計画した「3年生感謝プロジェクト」のひとつとして、卒業を祝う会を開催しました。今年度の下田中を先導してきた3年生、ともに過ごした3年生と楽しく過ごす1時間は、全校生徒にとって思い出に残る大切なひと時となりました。



じゃんけん大会



思い出の写真

思い出写真のスライドショーでは、BGMにのせて次々に映し出される懐かしい写真に、3年生は笑顔になるとともに、成長した自分たちの今を実感する時間になりました。「こんなことやったよね」「このとき楽しかったあ」「幼かったなあ」「力をつけた自分がある。よし頑張るぞ」そんな言葉が聞こえてくるようでした。

会の最後で旧生徒会長が話した言葉が心に残りました。「カウントダウンカレンダーをめくるスピードが日に日に速くなっていく。」時間よ、止まれ！もう少し下田中にいたい！そんな気持ちがカレンダーのスピードを上げるのでしょうか。

旅立ちを間近に控えた3年生に向けて、応援団と全校生徒からエールを送りました。

フレー フレー 3年生！
みんなー 大好きー 3年生！
未来へー はばたけー 3年生！

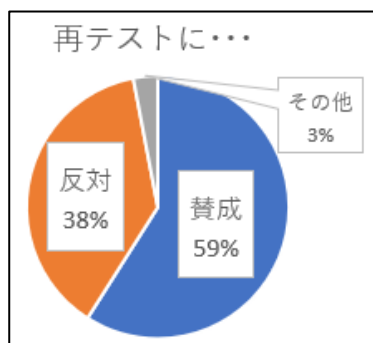
3年生の卒業式に向けた練習が16日(木)から始まりました。学校は卒業式モードになってきています。未来へはばたく3年生を送り出す日は3月3日です。



テストは必要か!? 生徒の本音は…

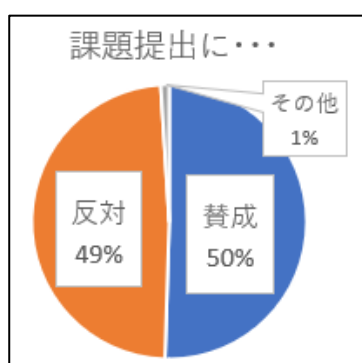
基礎学力をつけるために実施している下田タイムは、漢字、計算、英単語、社会・理科の基本用語等の問題をローテーションで毎週水曜日に実施しています。全校生徒の取組状況は素晴らしく、毎回の合格率、課題提出率は90%を越えます。先日、この下田タイムについて簡易的なアンケートを実施し、任意で提出してもらいました。全校生徒の約半数が回答してくれました。コメントは廊下に掲示し、賛成意見に“イイねシール”を貼っています。

項目1 「下田タイム不合格の際に受ける再テストは必要だと思いますか？」



- 再テストであっても合格できたことは自信になる。
- 間違えた問題をきちんと理解したかを再テストで確かめることは大切だ。
- ▲再テストのために答えを丸暗記することは意味がない。再テストの問題を変えて実施するのなら有効である。
- ▲再テストをなしにし、「一発で合格しよう」とプラスに考える人が増えるといい。
- 再テストではなく、分からないところを先生に教えてもらうようにしたらいいと思う。
- 再テストを希望する人ができる環境があるといい。

項目2 「下田タイムに向けた学習用課題プリントは提出した方がよいと思いますか？」



- 課題プリントを提出するために一生懸命に取り組める。
- ▲覚えているものを何度もやる必要はない。その時間を他のことに使いたい。
- ▲自分でしっかり勉強してあれば提出しなくてもいい。合格したいと思うなら自ら勉強すると思う。
- 答えを写して提出する人がいる。そういう人は提出の意味がない。

賛否両論ありますが、生徒はみな学力をつけたい、頑張る自分でありたいと前向きに考えています。そのことを嬉しく思います。

今回は下田タイムについて考えました。学校内でこれまで当たり前にあること、取り組んできたことに疑問を感じる時がこれからもあるかもしれません。そんな時には声をあげて、なにか改善策はないものかと生徒と教師と一緒に考えていくことを大切にしたいと思います。

お知らせ 「下田中学校指定通学カバンについて」

来年度入学生の通学カバンが新しくなります。(兄弟が使用していたものを使用することは可能です。)今回の変更にあたり、現1、2年生数名から現物を確認してもらい、またPTA 正副会長と幹事の皆様からご意見をいただき決定しました。値段は変わらず 8,500 円です。現1、2年生は、現在使用している通学カバンを継続してお使いください。

